



2021年11月12日

社会福祉法人高知県社会福祉協議会

福祉専門職による避難所生活支援の仕組み

「高知県災害派遣福祉チーム」第2期養成研修開催

災害時に、一般避難所で高齢者、障害者、乳幼児その他特別な配慮を必要とする災害時要配慮者を支援する「高知県災害派遣福祉チーム」の第2期養成研修を11月19日に開催し、災害時の支援力向上に取り組めます。

1. 背景

東日本大震災をきっかけに、災害関連死等の2次被害を防止するため、一般避難所での高齢者や障害者、子どもなど災害時要配慮者に対する生活支援の必要性が指摘され始め、それらの課題を解決するため、各都道府県で災害派遣福祉チームが設立されています。

2. 内容

高知県災害派遣福祉チーム（高知県DWAT）は令和2年12月に発足し、現在65名のチーム員が登録しています。チーム員は福祉実務経験が3年以上あり、養成研修（1日）を修了した介護福祉士33名、社会福祉士12名、看護師12名、介護支援専門員11名、精神保健福祉士5名、保育士2名で構成されています（複数資格保有者あり）。災害発生時には、被災自治体からの要請に基づいて、高知県が派遣を指示し、高知県社会福祉協議会が4～6名を1チームとして編成し、被災地へ派遣します。

被災地では、1チームあたり7日間程度支援活動にあたります。活動内容としては、①福祉避難所への誘導、②災害時要配慮者へのアセスメント（健康調査、ラウンド）、③日常生活上の支援、④相談支援（福祉（要配慮者）相談窓口、何でも相談）、⑤一般避難所内の環境整備、⑥本部、都道府県との連絡調整、状況等の報告、⑦後続のチームへの引継ぎ、⑧被災市町村や避難所管理者との連携、⑨他職種との連携、⑩被災地域の社会福祉施設等との連携などがあります。

今回の第2期養成研修は、チーム員を増員するためのもので、県内各地の福祉職場に勤務する58名が参加します。高知県DWATは第1期と第2期を合計して123名体制になります。

3. 今後の展開

高知県社会福祉協議会では、来年度以降も養成研修を開催してチーム員を増員するとともに、スキルアップ研修やリーダー研修、実地研修を開催して、チームの災害支援力向上を進めていきます。



【お問い合わせ先】

社会福祉法人高知県社会福祉協議会

部署名：法人振興課

担当者：仙頭

TEL：088-844-4611

E-mail：dwat@pippikochi.or.jp

HP：http://www.kochiken-shakyo.or.jp/